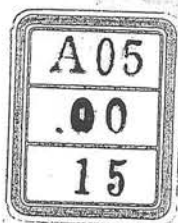


なごやしの台所事情



H15度

名古屋市の財政状況をわかりやすくするために、市の予算をあえて家計にたとえてみました。

◎市税などの自主財源を年収500万円(月収41万6,700円)とします。

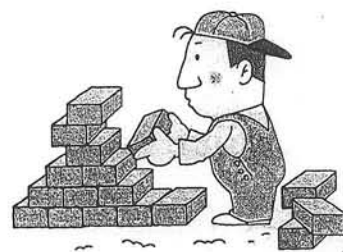
収 入		支 出	
平成15年度一般会計予算額	家計にたとえた場合	平成15年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
市税などの自主財源 6,424億円	月収(給料など) 41万6,700円	公債費 1,445億円	ローンの返済 9万3,700円
国・県支出金など 2,182億円	親などからの支援 14万1,500円	人件費 1,916億円	食費 12万4,300円
市債などの借入金 1,661億円	ローンなどでまかなっている額 10万7,800円	扶助費 1,373億円	家族の医療費など 8万9,100円
一般的な市債 813億円	住宅ローン 5万2,800円	繰出金 832億円	生計を別にしていない家族への仕送り 5万4,000円
特例的な市債 449億円	生活ローン 2万9,100円	投資的経費・維持補修費 1,510億円	自宅の増改築・修繕費 9万7,900円
財政健全化債 169億円	特別ローン 1万1,000円	補助費等・投資及び出資金・貸付金 2,348億円	友人への援助金など 15万2,300円
基金借入金 230億円	ローン返済準備金からの借入れ 1万4,900円	物件費など 843億円	光熱費など 5万4,700円
収入計 1兆267億円	収入計 66万6,000円	支出計 1兆267億円	支出計 66万6,000円

1ヶ月の支出66万6,000円をまかなうのに、月収に親などからの支援を加えてもなお不足する額10万7,800円を、ローンに頼らざるを得ない状況となっています。

自宅の増改築・修繕費(投資的経費・維持補修費)

自宅の増改築費(投資的経費)は、平成7年度がピークでしたが、平成2年度と比較すると月額43,000円減少しています。

	平成2年度	平成15年度	比較した結果
増改築費	127,500円	84,500円	43,000円の減少



友人への援助金など(補助費等・投資及び出資金・貸付金)

援助金の中では、友人への貸付金が増えており、特に商売をしている友人への貸付金(金融対策費貸付金)が平成2年度の2倍以上の額になっています。

	平成2年度	平成15年度	比較した結果
商売をしている友人への貸付金	20,800円	46,400円	25,600円の増加
交通事業を営んでいる友人への援助金 (地下鉄建設費補助金、バス事業補助金、お年寄りの交通費(敬老パス)など)	30,400円	36,000円	5,600円の増加

ローンなどの残高と返済額

平成2年度

残高 472万円

内訳

住宅ローン
(一般的な市債)
472万円



1ヶ月当りの返済額
4万1,800円

平成15年度

残高 1,449万円

内訳

住宅ローン(一般的な市債)
1,201万円
生活ローン(特例的な市債)
173万円
特別ローン(財政健全化債)
29万円
ローン返済準備金からの
借入れ(基金借入金) 46万円



1ヶ月当りの返済額
9万3,700円

平成2年度と比べると平成15年度は、ローンなどの残高は約3倍、返済は約2倍となっています。

これは親の方針(バブル崩壊後の景気対策)により、将来の収入増を見込んで、住宅ローン(一般的な市債)を活用し自宅の増改築(道路・公園などの社会基盤の整備)を積極的にしてきたこと、収入減の補てんや親からの支援の代わりとして生活ローン(特例的な市債)を組んできたことなどによるものです。

- ※生活ローン(特例的な市債) : 収入減の補てんのためや、生活費として本来なら親からの支援が得られるものを、親の事情により、一家で借入れたもの
- 特別ローン(財政健全化債) : 一家の家計が赤字の時に、その赤字を減らす努力の範囲内で、一時的に借入れることが認められているもの
- ローン返済準備金からの借入れ : 満期日に一括して返済するローンのために積み立てている(基金借入金) 返済準備金から、一時的に借入れているもの

ご意見をお聞かせください

あて先 郵便

〒460-8508(所在地の記入は不要です。)

名古屋市役所財政局財政部財政課

FAX

052-972-4120

電子メール

a2306@zaisei.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先

052-972-2306

市民情報センター
名古屋市



034883

なごやしの台所事情

発行/平成15年5月

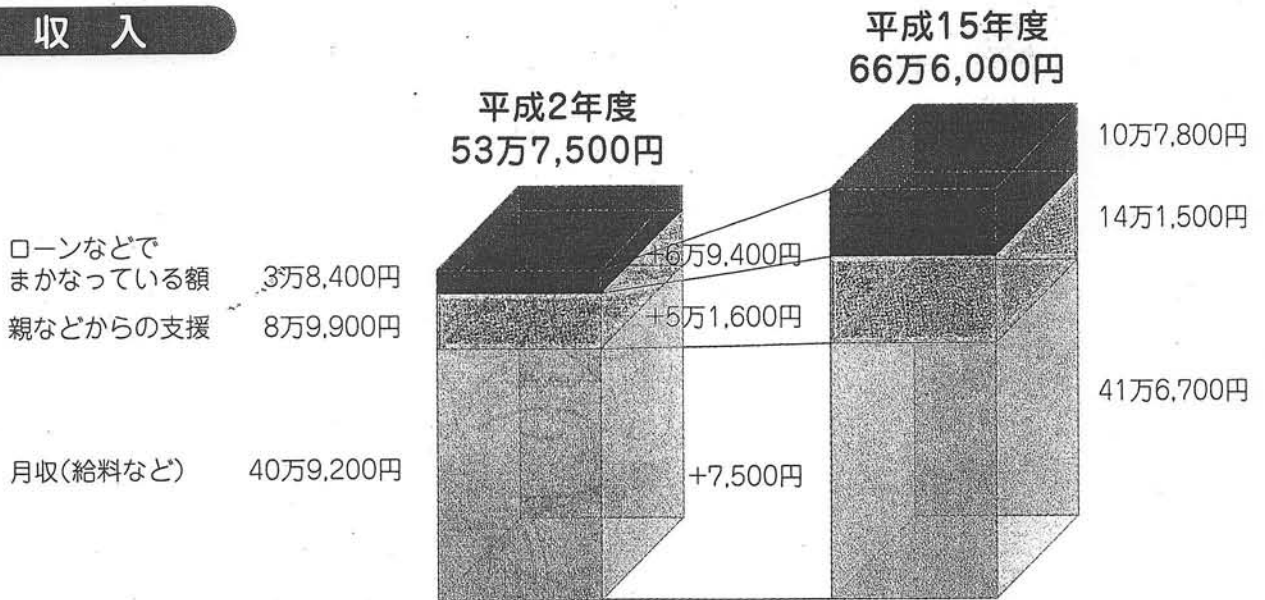
編集/名古屋市財政局財政部財政課

発行/名古屋市

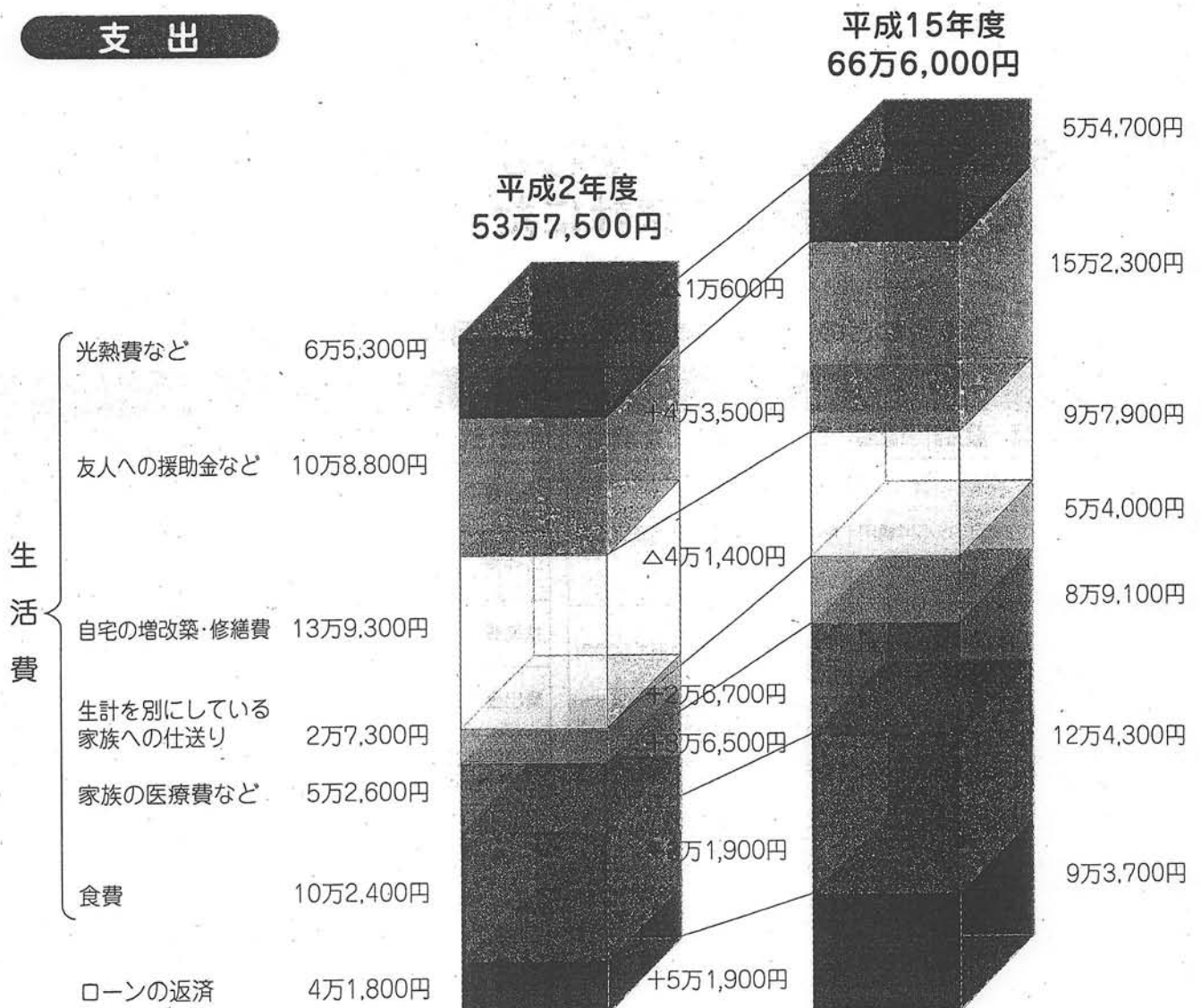
この冊子は再生紙(古紙含有率100% 白色度70%)を使用しています。

平成15年度と市税収入がほぼ同水準の平成2年度を比較してみます。

収入



支出



平成2年度に比べると月収はほとんど変わっていないにもかかわらず、生活費やローンの返済が増えてきており、不足額は大幅に拡大しています。

収支不足分はローンなどでまかっています。

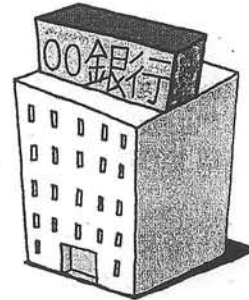
支出

月収(給料など)、
親などからの支援

不足分を借入れ



=



平成2年度

53万7,500円

—

49万9,100円

=

3万8,400円

内訳 住宅ローン(一般的な市債)3万8,400円

平成15年度

66万6,000円

—

55万8,200円

=

10万7,800円

内訳 住宅ローン(一般的な市債)5万2,800円 特別ローン(財政健全化債)1万1,000円
生活ローン(特例的な市債)2万9,100円 ローン返済準備金からの借入れ(基金借入金)1万4,900円

生活費の主な増減を簡単に説明してみます。

食費(人件費)

平成2年度に比べて職員の数約1,500人減りましたが、職員の平均年齢の上昇などにより平均給料月額が高くなっているために、人件費が月額21,900円増えています。

平成15年度には、大幅な定員削減(224人の削減)や人事委員会勧告以上の給料削減を行いました。



家族の医療費など(扶助費)



一番大きく増えているのが、子どもにかかる医療費などで、月額18,200円増加しており、病気等で働けない家族にかかる医療費など(生活保護扶助費)も14,200円増加しています。

お年寄りにかかる医療費などが、平成2年度に比べて1,000円減っているように見えますが、平成12年度から老人ホームに入居している家族があり、8,600円の仕送り(介護保険特別会計支出金)をしているため、実質的には増加しています。

	平成2年度	平成15年度	比較した結果
子どもにかかる医療費など	16,300円	34,500円	18,200円 の増加
病気等で働けない家族にかかる医療費など	14,600円	28,800円	14,200円 の増加
お年寄りにかかる医療費など	8,200円	7,200円	1,000円 の減少

生計を別にしていない家族への仕送り(繰出金)

	平成2年度	平成15年度	比較した結果
老人ホームに入居している家族への仕送り (介護保険特別会計支出金)	—	8,600円	8,600円 の増加
別居している家族の医療費のための仕送り (国民健康保険特別会計支出金)	12,900円	20,700円	7,800円 の増加

なごやしの台所事情

名古屋市の財政状況をわかりやすくするために、
市の予算をあえて家計にたとえてみました。

平成16年度 ◎市税などの自主財源を年収500万円（月収41万6,700円）とします。

収 入	
平成16年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
市税などの自主財源 6,414億円	月収（給料など） 41万6,700円
国・県支出金など 2,287億円	親などからの支援 14万8,600円
市債などの借入金 1,411億円	ローンなどでまかなっている額 9万1,600円
一般的な市債 683億円	住宅ローン 4万4,400円
特例的な市債 463億円	生活ローン 3万100円
財政健全化債 155億円	特別ローン 1万円
基金借入金 110億円	ローン返済準備金からの借入れ 7,100円
収入計 1兆112億円	収入計 65万6,900円

支 出	
平成16年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
公債費 1,381億円	ローンの返済 8万9,800円
人件費 1,866億円	食費 12万1,200円
扶助費 1,447億円	家族の医療費など 9万4,000円
繰出金 895億円	生計を別にしている家族への仕送り 5万8,100円
投資的経費・維持補修費 1,451億円	自宅の増改築・修繕費 9万4,200円
補助費等・投資及び出資金・貸付金 2,214億円	友人への援助金など 14万3,800円
物件費など 858億円	光熱費など 5万5,800円
支出計 1兆112億円	支出計 65万6,900円

生活費

1ヶ月の支出65万6,900円をまかなうのに、月収に親などからの支援を加えてもなお不足する額9万1,600円を、ローンに頼らざるを得ない状況となっています。

しかし、前年度に比べると、家計の支出を切りつめるなどして、ローンなどでまかなっている額を1万6,400円減らすことができました。

それでもローンなどの残高は、年収の約3倍になっています。

ローンなどの残高

平成16年度
残 高
1,473万円

区 分	16年度末残高	家計にたとえた場合
住宅ローン	1兆5,337億円	1,196万円
生活ローン	2,716億円	212万円
特別ローン	417億円	32万円
ローン返済準備金からの借入れ	425億円	33万円
合計	1兆8,895億円	1,473万円



平成16年度の生活費を簡単に説明してみます。

食費(人件費)

事務の電算化や民間委託などにより、定員を319人減らし、また、市長などの特別職の給与や職員の給料の一部カットを行ったことなどにより、12万1,200円となり、ここ数年減少してきています。



家族の医療費など(扶助費)



総額で9万4,000円ですが、その主な内訳は、子どもにかかる医療費などが3万6,700円、病気などで働けない家族にかかる医療費など(生活保護扶助費)が3万2,200円、お年寄りにかかる医療費などが5,100円となっており、増加傾向にあります。

生計を別に行っている家族への仕送り(繰出金)

老人ホームに入居している家族への仕送り(介護保険特別会計支出金)9,400円、別居している家族の医療費のための仕送り(国民健康保険特別会計支出金)2万100円などで、5万8,100円となりました。

自宅の増改築・修繕費(投資的経費・維持補修費)

総額で9万4,200円ですが、このうち増改築の経費は7万8,200円と、ピーク時(平成7年度)の18万5,400円と比較すると、半分以上となっています。



友人への援助金など(補助費等・投資及び出資金・貸付金)



総額14万3,800円の中では、友人への貸付金が多く、特に商売をしている友人への援助金(金融対策費貸付金)が4万5,400円、交通事業を営んでいる友人への援助金は2万6,600円となっています。

また、お年寄りのための市営交通料金などの援助金(敬老パスの交付)が8,700円となっています。なお、敬老パス制度の維持のために、平成16年度から一部負担をお願いすることとしました。

ご意見をお聞かせください

あて先 郵便

〒460-8508(所在地の記入は不要です。)

名古屋市役所財政局財政部財政課

FAX

052-972-4120

電子メール

a2306@zaisei.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先

052-972-2306

市民情報センター
名古屋市



037522

なごやしの台所事情

発行/平成16年6月

編集/名古屋市財政局財政部財政課

発行/名古屋市

この冊子は再生紙(古紙含有率100% 白色度70%)を使用しています。

なごやしのかんしやうじょうけい

名古屋市の財政状況をわかりやすくするために、
市の予算をあえて家計にたとえてみました。

平成17年度◎市税などの自主財源を年収500万円（月収41万6,700円）とします。

収入	
平成17年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
市税などの自主財源 6,545億円	月収（給料など） 41万6,700円
国・県支出金など 2,238億円	親などからの支援 14万2,500円
市債などの借入金 1,104億円	ローンなどでまかなっている額 7万200円
一般的な市債 596億円	住宅ローン 3万7,900円
特例的な市債 355億円	生活ローン 2万2,600円
財政健全化債 153億円	特別ローン 9,700円
収入計 9,887億円	収入計 62万9,400円

支出	
平成17年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
公債費 1,397億円	ローンの返済 8万8,900円
人件費 1,845億円	食費 11万7,500円
扶助費 1,531億円	家族の医療費など 9万7,400円
繰出金 837億円	生計を別にしている家族への仕送り 5万3,300円
投資的経費・維持補修費 1,322億円	自宅の増改築・修繕費 8万4,100円
補助費等・投資及び出資金・貸付金 2,095億円	友人への援助金など 13万3,400円
物件費など 860億円	光熱費など 5万4,800円
支出計 9,887億円	支出計 62万9,400円

生活費

1ヶ月の支出62万9,400円をまかなうのに、月収に親などからの支援を加えてもなお不足する額7万200円を、ローンに頼らざるを得ない状況となっています。

しかし、前年度に比べると、家計の支出を切りつめるなどして、ローンなどでまかなっている額を1万9,600円減らし、ローン残高も8万円減らすことができました。

それでもローンなどの残高は、年収の約3倍になっています。

A05
00
17

ローンなどの残高

区 分	残 高		家計にたとえた場合	
	16年度	17年度	16年度	17年度
住宅ローン	1兆5,277億円	1兆4,878億円	1,167万円	1,136万円
生活ローン	2,718億円	2,939億円	208万円	225万円
特別ローン	319億円	472億円	24万円	36万円
ローン返済準備金からの借入れ	378億円	298億円	29万円	23万円
合 計	1兆8,692億円	1兆8,587億円	1,428万円	1,420万円



平成17年度の生活費を簡単に説明してみます。

食費(人件費)

事務の集約化、民間委託などにより、定員を291人減らし、また引き続き市長などの特別職の給与や職員の給料の一部カットを行ったことなどにより、11万7,500円となり前年度に対して1,300円の減少となっています。



家族の医療費など(扶助費)

総額で9万7,400円となり、前年度より5,300円増加しています。主な内訳は子どもにかかる医療費などが3万7,600円、病気などで働けない家族にかかる医療費など(生活保護扶助費)が3万4,600円、お年寄りにかかる医療費などが4,600円となっています。



主な内訳	平成16年度	平成17年度	増減
子どもにかかる医療費など	3万6,000円	3万7,600円	1,600円の増
病気などで働けない家族にかかる医療費など	3万1,600円	3万4,600円	3,000円の増
お年寄りにかかる医療費など	5,000円	4,600円	400円の減

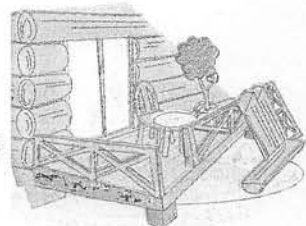
生計を別にしてしている家族への仕送り(繰出金)

総額で5万3,300円となり、前年度より3,700円減少しています。老人ホームに入居している家族への仕送り(介護保険特別会計支出金)が1,100円増加していますが、別居している家族の医療費のための仕送り(国民健康保険特別会計支出金)が2,300円減少しています。

主な内訳	平成16年度	平成17年度	増減
老人ホームに入居している家族への仕送り	9,200円	1万300円	1,100円の増
別居している家族の医療費のための仕送り	1万9,700円	1万7,400円	2,300円の減

自宅の増改築・修繕費(投資的経費・維持補修費)

総額で8万4,100円となり、前年度より8,200円減少しています。このうち増改築の経費は6万8,100円で8,500円減少しましたが、修繕費は1万6,000円となり300円増加しました。



友人への援助金など(補助費等・投資及び出資金・貸付金)

総額で13万3,400円となり、主な内訳は商売をしている友人への貸付金(金融対策費貸付金)が4万4,800円、交通事業を営んでいる友人への援助金は2万3,400円となっています。また、お年寄りのための市営交通料金などの援助金(敬老パスの交付)が8,200円となっています。総額は前年度より7,500円減少し、主に高速道路を建設している友人への援助金が4,500円減少しています。



主な内訳	平成16年度	平成17年度	増減
商売をしている友人への貸付金	4万4,500円	4万4,800円	300円の増
交通事業を営んでいる友人への援助金	2万6,100円	2万3,400円	2,700円の減
高速道路を建設している友人への援助金	1万2,600円	8,100円	4,500円の減

ご意見をお聞かせください

あて先 郵便

〒460-8508(所在地の記入は不要です。)

FAX

052-972-4120

電子メール

a2306@zaisei.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先

052-972-2306

市民情報センター
名古屋市



036687

なごやしの台所事情

名古屋市の財政状況をわかりやすくするために、平成18年度の市の予算をあえて家計にたとえてみました。

◎市税などの自主財源を年収500万円（月収41万6,700円）とします。

収入	
平成18年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
市税などの自主財源 6,669億円	月収（給料など） 41万6,700円
国・県支出金など 2,112億円	親からの支援など 13万1,900円
市債による借入金 1,011億円	ローンでまかなっている額 6万3,200円
一般的な市債 567億円	住宅ローン 3万5,500円
特例的な市債 308億円	生活ローン 1万9,200円
行政改革推進債 136億円	特別ローン 8,500円
収入計 9,792億円	収入計（月額） 61万1,800円

支出	
平成18年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
公債費 1,397億円	ローンの返済 8万7,300円
人件費 1,884億円	食費 11万7,700円
扶助費 1,590億円	家族の医療費など 9万9,300円
繰出金 654億円	生計を別にしている家族への仕送り 4万800円
投資的経費・維持補修費 1,289億円	自宅の増改築・修繕費 8万600円
補助費等・投資及び出資金・貸付金 2,135億円	友人への援助金など 13万3,400円
物件費など 843億円	光熱費など 5万2,700円
支出計 9,792億円	支出計（月額） 61万1,800円

生活費



1カ月の支出61万1,800円をまかなうのに、月収に親からの支援などを加えてもなお不足する額6万3,200円を、ローンに頼らざるを得ない状況となっています。

しかし、前年度に比べると、家計の支出を切りつめるなどして、ローンでまかなっている額を5,800円減らし、ローンなどの残高も22万円減らすことができました。それでもローンなどの残高は、年収の約3倍になっています。

ローンなどの残高

区 分	残 高		家計にたとえた場合	
	17年度	18年度	17年度	18年度
住宅ローン	1兆5,637億円	1兆5,126億円	1,173万円	1,134万円
生活ローン	2,930億円	3,113億円	220万円	233万円
特別ローン	400億円	535億円	30万円	40万円
ローン返済準備金からの借入れ	218億円	132億円	16万円	10万円
合 計	1兆9,185億円	1兆8,906億円	1,439万円	1,417万円



平成18年度の1カ月の生活費を簡単に説明してみます。

食費(人件費)

事務の集約化、民間委託などにより、定員を53人減らし、また引き続き市長などの特別職や職員の給料の一部カットなどを行いました。退職者数が増加したことなどから、前年度より2,700円増加し、総額で11万7,700円となりました。



家族の医療費など(扶助費)



総額で9万9,300円となり、前年度より3,600円増加しています。主な内訳は子どもにかかる医療費などが3万8,700円、病気などで働けない家族にかかる医療費など(生活保護扶助費)が3万5,200円、お年寄りにかかる医療費などが4,600円となっています。

主な内訳	平成17年度	平成18年度	増 減
子どもにかかる医療費など	3万6,100円	3万8,700円	2,600円の増
病気などで働けない家族にかかる医療費など	3万3,900円	3万5,200円	1,300円の増
お年寄りにかかる医療費など	4,500円	4,600円	100円の増

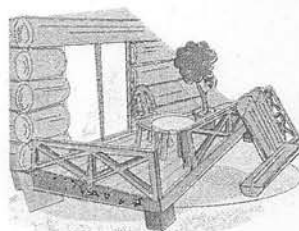
生計を別に行っている家族への仕送り(繰出金)

総額で4万800円となり、前年度より3,000円減少しています。老人ホームに入居している家族への仕送り(介護保険特別会計支出金)が600円増加していますが、別居している家族の医療費のための仕送り(国民健康保険特別会計支出金)が2,100円減少しています。

主な内訳	平成17年度	平成18年度	増 減
老人ホームに入居している家族への仕送り	1万100円	1万700円	600円の増
別居している家族の医療費のための仕送り	1万7,100円	1万5,000円	2,100円の減

自宅の増改築・修繕費(投資的経費・維持補修費)

総額で8万600円となり、前年度より2,300円減少しています。このうち増改築の経費は6万5,100円となり、2,100円の減少、修繕費は1万5,500円となり200円減少しました。



友人への援助金など(補助費等・投資及び出資金・貸付金)

総額で13万3,400円となり、前年度より4,200円減少しています。主な内訳は商売をしている友人への貸付金(金融対策費貸付金)が4万2,700円、高速道路を建設している友人への援助金が7,000円、交通事業を営んでいる友人への援助金は2万3,000円となっています。また、お年寄りのための市営交通料金などの援助金(敬老パスの交付)は7,600円となっています。



主な内訳	平成17年度	平成18年度	増 減
商売をしている友人への貸付金	4万4,000円	4万2,700円	1,300円の減
高速道路を建設している友人への援助金	7,900円	7,000円	900円の減
交通事業を営んでいる友人への援助金	2万3,000円	2万3,000円	—

ご意見をお聞かせください

あて先 郵便

〒460-8508(所在地の記入は不要です。)

FAX

名古屋市役所財政局財政部財政課

052-972-4120

電子メール

a2306@zaisei.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先

052-972-2306

市民情報センター
名古屋市



037520

なごやしの台所事情

発行/平成18年5月

編集/名古屋市財政局財政部財政課

発行/名古屋市

この冊子は再生紙(古紙含有率100% 白色度70%)を使用しています。

なごやしの台所事情

名古屋市の財政状況をわかりやすくするために、平成19年度の市の予算をあえて家計にたとえてみました。

◎市税などの自主財源を年収500万円（月収41万6,700円）とします。

収入	
平成19年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
市税などの自主財源 7,060億円	月収（給料など） 41万6,700円
国・県支出金など 1,880億円	親からの支援など 11万900円
市債による借入金 850億円	ローンでまかなっている額 5万200円
一般的な市債 504億円	住宅ローン 2万9,700円
特例的な市債 220億円	生活ローン 1万3,000円
行政改革推進債 126億円	特別ローン 7,500円
収入計 9,790億円	収入計（月額） 57万7,800円

支出	
平成19年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
公債費 1,480億円	ローンの返済 8万7,400円
人件費 1,929億円	食費 11万3,800円
扶助費 1,595億円	家族の医療費など 9万4,200円
繰出金 643億円	生計を別にしている家族への仕送り 3万7,900円
投資的経費・維持補修費 1,242億円	自宅の増改築・修繕費 7万3,300円
補助費等・投資及び出資金・貸付金 2,040億円	友人への援助金など 12万400円
物件費など 861億円	光熱費など 5万800円
支出計 9,790億円	支出計（月額） 57万7,800円

生活費

1カ月の支出57万7,800円をまかなうのに、月収に親からの支援などを加えてもなお不足する額5万200円を、ローンに頼らざるを得ない状況となっています。

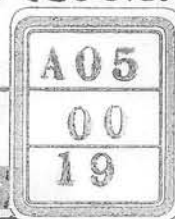
しかし、前年度に比べると、家計の支出を切りつめるなどして、ローンでまかなっている額を9,400円減らし、ローンなどの残高も22万円減らすことができました。

それでもローンなどの残高は、年収の約2.5倍になっています。

ローンなどの残高

区 分	残 高		家計にたとえた場合	
	18年度	19年度	18年度	19年度
住宅ローン	1兆5,101億円	1兆4,539億円	1,069万円	1,030万円
生活ローン	3,095億円	3,242億円	219万円	229万円
特別ローン	423億円	547億円	30万円	39万円
ローン返済準備金からの借入れ	32億円	—	2万円	—
合 計	1兆8,651億円	1兆8,328億円	1,320万円	1,298万円

ローン返済準備金からの借入れは全額返済します。



平成19年度の1カ月の生活費を簡単に説明してあります。

食費(人件費)

事務の集約化、民間委託などにより、定員を190人減らし、また引き続き市長などの特別職や職員の給料の一部カットなどを行いました。退職者数が増加したことなどから、前年度より2,700円増加し、総額で11万3,800円となりました。



家族の医療費など(扶助費)

総額で9万4,200円となり、前年度より400円増加しています。主な内訳は、子どもにかかる医療費などが3万8,000円、病気などで働けない方にかかる医療費など(生活保護扶助費)が3万600円、障害のある方にかかる医療費などが1万8,300円、お年寄りにかかる医療費などが4,400円となっています。



主な内訳	平成18年度	平成19年度	増減
子どもにかかる医療費など	3万6,500円	3万8,000円	1,500円の増
病気などで働けない方にかかる医療費など	3万3,200円	3万600円	2,600円の減
障害のある方にかかる医療費など	1万6,700円	1万8,300円	1,600円の増
お年寄りにかかる医療費など	4,300円	4,400円	100円の増

生計を別に行っている家族への仕送り(繰出金)

総額で3万7,900円となり、前年度より700円減少しています。主な内訳は、別居している家族の医療費のための仕送り(国民健康保険特別会計支出金)が1万4,100円、老人ホームに入居している家族への仕送り(介護保険特別会計支出金)が1万500円、市場などを経営している家族への仕送り(市場及びと畜場特別会計支出金)が1,500円となっています。

主な内訳	平成18年度	平成19年度	増減
別居している家族の医療費のための仕送り	1万4,100円	1万4,100円	—
老人ホームに入居している家族への仕送り	1万100円	1万500円	400円の増
市場などを経営している家族への仕送り	2,000円	1,500円	500円の減

自宅の増改築・修繕費(投資的経費・維持補修費)

総額で7万3,300円となり、前年度より2,700円減少しています。このうち増改築の経費は5万8,400円となり3,000円減少しましたが、修繕費は1万4,900円となり300円増加しました。



友人への援助金など(補助費等・投資及び出資金・貸付金)

総額で12万400円となり、前年度より5,500円減少しています。主な内訳は、商売をしている友人への貸付金(金融対策費貸付金)が4万300円、高速道路を建設している友人への援助金が4,400円、交通事業を営んでいる友人への援助金は2万1,900円となっています。また、お年寄りのための市営交通料金などの援助金(敬老パスの交付)は7,200円となっています。



主な内訳	平成18年度	平成19年度	増減
商売をしている友人への貸付金	4万300円	4万300円	—
高速道路を建設している友人への援助金	6,600円	4,400円	2,200円の減
交通事業を営んでいる友人への援助金	2万1,700円	2万1,900円	200円の増

ご意見をお聞かせください

あて先 郵便

〒460-8508(所在地の記入は不要です。)

FAX

名古屋市役所財政局財政部財政課

電子メール

052-972-4120

a2306@zaisei.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先

052-972-2306

市民情報センター
名古屋市



038281

なごやしの台所事情

発行/平成19年4月

編集/名古屋市財政局財政部財政課

発行/名古屋市

この冊子は再生紙(古紙パルプ配合率100% 白色度70%)を使用しています。

なごやしの台所事情

名古屋市の財政状況をわかりやすくするために、
平成20年度の市の予算をあえて家計にたとえてみました。

◎市税などの自主財源を年収500万円（月収41万6,700円）とします。

収 入	
平成20年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
市税などの自主財源 7,117億円	月収（給料など） 41万6,700円
国・県支出金など 1,915億円	親からの支援など 11万2,100円
市債による借入金 805億円	ローンでまかなっている額 4万7,100円
一般的な市債 545億円	住宅ローン 3万1,900円
特例的な市債 160億円	生活ローン 9,400円
行政改革等推進債 100億円	特別ローン 5,800円
収入計 9,837億円	収入計（月額） 57万5,900円

支 出	
平成20年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
公債費 1,465億円	ローンの返済 8万5,800円
人件費 1,926億円	食費 11万2,800円
扶助費 1,626億円	家族の医療費など 9万5,200円
繰出金 652億円	生計を別にしている家族への仕送り 3万8,200円
投資的経費・維持補修費 1,253億円	自宅の増改築・修繕費 7万3,300円
補助費等・投資及び出資金・貸付金 2,047億円	友人への援助金など 11万9,800円
物件費など 868億円	光熱費など 5万800円
支出計 9,837億円	支出計（月額） 57万5,900円

生活費

A05
00
20

1カ月の支出57万5,900円をまかなうのに、月収に親からの支援などを加えてもなお不足する額4万7,100円を、ローンに頼らざるを得ない状況となっています。

しかし、家計の支出を切りつめるなどして、前年度に比べローンでまかなっている額を2,700円減らし、ローンの残高も21万円減らすことができました。
それでもローンの残高は、年収の約2.5倍になっています。

ローンの残高

区 分	残 高		家計にたとえた場合	
	19年度	20年度	19年度	20年度
住宅ローン	1兆4,475億円	1兆3,999億円	1,017万円	983万円
生活ローン	3,233億円	3,310億円	227万円	233万円
特別ローン	444億円	541億円	31万円	38万円
合 計	1兆8,152億円	1兆7,850億円	1,275万円	1,254万円



平成20年度の1カ月の生活費を簡単に説明してみます。

食費(人件費)

事務の集約化、民間委託などにより、定員を160人減らし、また引き続き市長などの特別職や職員の給料の一部カットを行ったことなどにより、前年度より100円減少し、総額で11万2,800円となりました。



家族の医療費など(扶助費)

総額で9万5,200円となり、前年度より1,800円増加しています。主な内訳は、子どもにかかる医療費などが3万9,300円、病気などで働けない方にかかる医療費など(生活保護扶助費)が2万9,700円、障害のある方にかかる医療費などが1万8,400円、お年寄りにかかる医療費などが5,000円となっています。



主な内訳	平成19年度	平成20年度	増減
子どもにかかる医療費など	3万7,700円	3万9,300円	1,600円の増
病気などで働けない方にかかる医療費など	3万400円	2万9,700円	700円の減
障害のある方にかかる医療費など	1万8,100円	1万8,400円	300円の増
お年寄りにかかる医療費など	4,300円	5,000円	700円の増

生計を別に行っている家族への仕送り(繰出金)

総額で3万8,200円となり、前年度より600円増加しています。主な内訳は、別居している家族の医療費のための仕送り(国民健康保険特別会計支出金、後期高齢者医療特別会計支出金、老人保健特別会計支出金)が2万1,600円、老人ホームに入居している家族への仕送り(介護保険特別会計支出金)が1万700円となっています。

主な内訳	平成19年度	平成20年度	増減
別居している家族の医療費のための仕送り	2万1,000円	2万1,600円	600円の増
老人ホームに入居している家族への仕送り	1万400円	1万700円	300円の増

自宅の増改築・修繕費(投資的経費・維持補修費)

総額で7万3,300円となり、前年度より600円増加しています。このうち増改築の経費は5万7,600円となり400円減少しましたが、修繕費は1万5,700円となり1,000円増加しました。



友人への援助金など(補助費等・投資及び出資金・貸付金)

総額で11万9,800円となり、前年度より400円増加しています。主な内訳は、商売をしている友人への貸付金(金融対策費貸付金)が3万9,700円、交通事業を営んでいる友人への援助金は2万2,800円となっています。また、お年寄りのための市営交通料金などの援助金(敬老パスの交付)は7,600円となっています。



主な内訳	平成19年度	平成20年度	増減
商売をしている友人への貸付金	4万円	3万9,700円	300円の減
交通事業を営んでいる友人への援助金	2万1,700円	2万2,800円	1,100円の増

ご意見をお聞かせください

あて先 郵便

〒460-8508(所在地の記入は不要です。)

FAX

名古屋市役所財政局財政部財政課
052-972-4120

電子メール

a2306@zaisei.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先

052-972-2306

市民情報センター
名古屋市



039020

なごやしの台所事情

発行/平成20年4月

編集/名古屋市財政局財政部財政課

発行/名古屋市

このリーフレットは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

なごやしの台所事情

名古屋市の財政状況をわかりやすくするために、
平成21年度の市の予算をあえて家計にたとえてみました。

◎市税などの自主財源を年収500万円(月収41万6,700円)とします。

収入	
平成21年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
市税などの自主財源 7,000億円	月収(給料など) 41万6,700円
国・県支出金など 1,883億円	親からの支援など 11万2,000円
市債による借入金 1,025億円	ローンでまかなっている額 6万1,000円
一般的な市債 695億円	住宅ローン 4万1,300円
特例的な市債 280億円	生活ローン 1万6,700円
行政改革推進債 50億円	特別ローン 3,000円
収入計 9,908億円	収入計(月額) 58万9,700円

支出	
平成21年度一般会計予算額	家計にたとえた場合
公債費 1,472億円	ローンの返済 8万7,600円
人件費 1,903億円	食費 11万3,200円
扶助費 1,704億円	家族の医療費など 10万1,500円
繰出金 665億円	生計を別にしている家族への仕送り 3万9,600円
投資的経費・維持補修費 1,184億円	自宅の増改築・修繕費 7万5,000円
補助費等・投資及び出資金・貸付金 2,089億円	友人への援助金など 12万4,300円
物件費など 891億円	光熱費など 5万3,000円
支出計 9,908億円	支出計(月額) 58万9,700円

生活費

1カ月の支出58万9,700円をまかなうのに、月収に親からの支援などを加えてもなお不足する額6万1,000円を、ローンに頼らざるを得ない状況となっています。

前年度に比べ、給料が大幅に減る一方で、医療費などが増えたことにより、ローンでまかなっている額が1万3,100円増えました。

それでもローンの残高は前年並みにおさえ、年収の約2.5倍になっています。

ローンの残高

区 分	残 高		家計にたとえた場合	
	20年度	21年度	20年度	21年度
住宅ローン	1兆4,180億円	1兆3,861億円	1,012万円	990万円
生活ローン	3,496億円	3,745億円	250万円	268万円
特別ローン	435億円	482億円	31万円	34万円
合 計	1兆8,111億円	1兆8,088億円	1,293万円	1,292万円



400年の旅人「はち丸」

平成21年度の1カ月の生活費を簡単に説明してみます。

食費(人件費)

事務の集約化、民間委託などにより、定員を293人減らし、また引き続き市長などの特別職や職員の給料の一部カットを行ったことなどにより、前年度より1,400円減少し、総額で11万3,200円となりました。



家族の医療費など(扶助費)

総額で10万1,500円となり、前年度より4,800円増加しています。主な内訳は、子どもにかかる医療費などが4万1,100円、病気などで働けない方にかかる医療費など(生活保護扶助費)が3万1,700円、障害のある方にかかる医療費などが2万200円、お年寄りにかかる医療費などが5,300円となっています。



主な内訳	平成20年度	平成21年度	増減
子どもにかかる医療費など	3万9,900円	4万1,100円	1,200円の増
病気などで働けない方にかかる医療費など	3万200円	3万1,700円	1,500円の増
障害のある方にかかる医療費など	1万8,700円	2万200円	1,500円の増
お年寄りにかかる医療費など	5,000円	5,300円	300円の増

生計を別に行っている家族への仕送り(繰出金)

総額で3万9,600円となり、前年度より800円増加しています。主な内訳は、別居している家族の医療費のための仕送り(国民健康保険特別会計支出金、後期高齢者医療特別会計支出金、老人保健特別会計支出金)が2万3,200円、老人ホームに入居している家族への仕送り(介護保険特別会計支出金)が1万1,100円となっています。

主な内訳	平成20年度	平成21年度	増減
別居している家族の医療費のための仕送り	2万2,000円	2万3,200円	1,200円の増
老人ホームに入居している家族への仕送り	1万900円	1万1,100円	200円の増



自宅の増改築・修繕費(投資的経費・維持補修費)

総額で7万500円となり、前年度より4,000円減少しています。このうち増改築の経費は5万4,200円となり4,300円減少しましたが、修繕費は1万6,300円となり300円増加しました。

友人への援助金など(補助費等・投資及び出資金・貸付金)

総額で12万4,300円となり、前年度より2,600円増加しています。主な内訳は、商売をしている友人への貸付金(金融対策貸付金)が4万1,100円、交通事業を営んでいる友人への援助金が2万3,700円、病院事業を営んでいる友人への援助金が3,700円となっています。

また、お年寄りのための市営交通料金などの援助金(敬老パスの交付)は7,800円となっています。



主な内訳	平成20年度	平成21年度	増減
商売をしている友人への貸付金	4万300円	4万1,100円	800円の増
交通事業を営んでいる友人への援助金	2万3,100円	2万3,700円	600円の増
病院事業を営んでいる友人への援助金	2,300円	3,700円	1,400円の増

ご意見をお聞かせください

郵便 〒460-8508 (所在地の記入は不要です。)
名古屋市役所財政局財政部財政課
電話 052-972-2306
FAX 052-972-4120
電子メール a2306@zaisei.city.nagoya.lg.jp

nagoya

400th

2010

市民情報センター
名古屋市

なごやしの台所事情

発行/平成21年4月

編集/名古屋市財政局財政部財政課

発行

このリーフレットは、古紙パルプを含む再生紙を使い



039726